



SOR-R/T

周囲の低レベル放射能（LLR）および 中性子・ガンマ線量計

SOR電子線量計の重要な特徴として、ひとつの線量計で種々のニーズに対応できることです。マルチ検出器技術から、カバーする測定範囲は広く低レベル放射能（LLR）と同様に高レベルガンマおよび中性子線量率も含まれます。

この線量計は、現在の軍および民間の基準に沿ったものであると認識されています。実際には、厳しい操作環境に対応できるように基準をさらに上回っています。

SOR電子線量計はNATO加盟国で最も多く選ばれている線量計です。

特徴

SOR電子線量計は2種類のタイプがあります：

- SOR/T：ガンマ・中性子および周辺の残留ガンマ線測定
- SOR/R：周辺の残留ガンマ線測定
- 個別に指定が可能な電子線量計
- 小型、軽量で高い防水性
- 戦場で使用できる頑丈設計
- 手を使わず、衣類を通したデータの受渡ができる



health physics

A Mirion Technologies Division

Featuring:



主な仕様



首にかけたSOR



腕ハンドのポーチに収めたSOR



クリップ型SOR

機能特性

- ・ 選べる測定単位：cGy;cGy/h；mSv；mSv/h;mrem;mrem/h
- ・ 線量および線量値の4つの警報レベルの設定
- ・ 電池寿命：標準バッテリーで1年間
- ・ ユーザーが選択できる表示モード
- ・ バックライト表示（オプション）
- ・ 検出器を含む定期的な自己診断
- ・ 測定結果と事象の履歴の記録（750ステップ、10秒、1分、10分、1時間、24時間）
- ・ EEPROMへのデータ保持（バッテリーなしで10年以上）
- ・ 電池寿命予告警報（16時間）と警報
- ・ 首にかける紐またはクリップ
- ・ リアルタイムの測定データの伝送（1000mまでの範囲、SOR/R）（オプション）
- ・ 教育訓練モード（オプション）

物理特性

- ・ Hp(10) 線量等量測定
- ・ 瞬間のガンマ線量測定：5cGy～10Gy
- ・ 瞬間の中性子線量測定
- ・ 相対誤差：測定レンジ内 ±30%
- ・ 周辺ガンマ線量測定範囲：1μGy ～ 10Gy
- ・ ガンマ線量率測定範囲：0.1μGy ～ 10Gy
- ・ ガンマ線量率表示：1または10μGy/h～10Gy/h
- ・ 飽和表示（約10Gy/h）
- ・ 周辺線量測定の相対誤差：線量測定レンジ内 ±20%
- ・ エネルギー特性
- ・ ±20%以下（60keV～2MeV）
- ・ ±50%以下（2MeV～6MeV）
- ・ IEC17025の認定工場校正
- ・ 測定精度±10%（¹³⁷Cs、～25mSv/h、K=2の不確実性の5%増を含む）

寸法・重量

- ・ 寸法：80.4×48×9mm（平らなケース部分）
- ・ 重量：55g

環境特性

- ・ -20℃～50℃（正常な操作範囲、標準電池3V LiMnO₂ CR2450）
- ・ -40℃～50℃（オプション、バッテリーモジュール 3.6V LiSoCl₂）
- ・ TREEプロテクション採用
- ・ EMP（電磁パルス）、EMC（電磁両立性）、レーダーに対する安全性
- ・ 浸水、落下、衝撃、振動、低い圧力、NBC環境への対応性
- ・ 各種標準の適合性
- ・ MIL-STD-810、MIL-STD-461標準に適合
- ・ 多くのNATO加盟国の軍事研究施設で正式に採用
- ・ IEC1283、ANSI42-20、NATO D104に準拠



MIRION Health Physics
TECHNOLOGIES Division

MGP Instruments Inc. - USA

MGP Instruments SA. - France

RADOS Technology Oy - Finland

RADOS Technology GmbH - Germany

－製品に関するお問合せは－

テクノヒル株式会社

〒103-0014

東京都中央区日本橋蛸殻町 2-5-3 サンホリベビル4階

tel : 03-5642-6144 fax : 03-5642-6145

e-mail: technohill@technohill.co.jp

http://www.technohill.co.jp